

「成長」176号(2022年1・2・3月) グレード4-5 ワークシート

*教会学校教案誌「成長」176号の学びに合わせたワークシートです。本誌と併せて、教会やご家庭で、予習・復習・ディスカッションなどにご利用ください。

*聖書を開いて答えを書きましょう。聖書に直接答えが書いていないものは、教師が本誌の分級教案を参照してください。

*解答例も別途ダウンロードできます。

単元17 主イエスのたとえ話

月日	タイトル	聖書箇所
1/2	赦しについて	マタイ 18:21～35
1/9	よいサマリア人	ルカ 10:25～37
1/16	失われた息子	ルカ 15:11～32 (1～3節)
1/23	パリサイ人と取税人の祈り	ルカ 18:9～14
1/30	花婿を待つ娘たち	マタイ 25:1～13
2/6	タラントのたとえ	マタイ 25:14～30

単元18 イエスに出会った人々

月日	タイトル	聖書箇所
2/13	マルタとマリア	ルカ 10:38～42
2/20	金持ちの青年	マルコ 10:17～31
2/27	バルティマイ	マルコ 10:46～52
3/6	ザアカイ	ルカ 19:1～10

単元19 十字架に向かう道

月日	タイトル	聖書箇所
3/13	エルサレム入城	マルコ 11:1～11
3/20	宮きよめ	マルコ 11:15～19
3/27	ナルドの香油	マルコ 14:3～9 (ヨハネ 12:1～11)

グレード4-5 ワークシート

1/2 赦しについて

マタイ 18 : 21 ~ 35

1 「兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回まで赦すべきか」との問いに、イエスは何とお答えになりましたか。(22 節)

2 たとえ話について見ていきましょう。(23 ~ 35 節)

① 1 万タラントの借金とは、現在の日本のお金にするとどのくらいでしょうか。

1 タラント = 6000 デナリ。1 デナリ (1 日の労賃) を 1 万円とすると…

$(6000 \times 10000) \times 10000 = ($) 円

② 1 年に 300 日働くとして、何年働けば 1 万タラントの借金を返済できるでしょうか。

_____ $\div (10000 \times 300) = ($) 年

③ この額 (返済年数) と、家来の弁明 (26 節) を見比べて、どう思いますか。

3 王は、なぜ家来の借金を免除してくれたのでしょうか。(27 節)

4 たとえの中の王、家来、借金は、何を表しているでしょうか。

王 =

家来 =

借金 =

5 神は、あなたの罪に対して、どのような赦しを約束しているでしょうか。(イザヤ 43 : 25、コロサイ 2 : 13 ~ 14)

6 神は、私たちが他の人 (特に、教会の人たち・クリスチャン) に対して、どうすることを願っておられますか。(33 節)

1/9

よいサマリア人

ルカ 10 : 25 ~ 37



「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という律法に関して、ある律法の専門家が、「私の隣人とは誰か」とイエスに尋ねました。「私は私の隣人を十分に愛している」という自負があったのでしょうか。イエスは、たとえを通して隣人を愛することについてお教えになりました。

たとえに出てくる「祭司」「レビ人」は、神殿で神に奉仕をしたり、民を指導したりする人たちです。「サマリア人」は、歴史的にユダヤ人とは仲の悪い人たちです。「強盗に襲われた人」は、ユダヤ人であることが想定されています。

1 強盗に襲われた人に対して、祭司、レビ人、サマリア人は、どんな行動をとりましたか。その理由も考えてみましょう。

・祭司 (31 節)

行動

理由

・レビ人 (32 節)

行動

理由

・サマリア人 (33 ~ 35 節)

行動

理由

2 イエスに質問した律法の専門家は、「隣人」とは誰のことだと思っていたと想像できますか。一方、イエスは「隣人」について何を教えようとされているのでしょうか。(36 ~ 37 節)

3 あなたの周囲にいる人を思い出してみましょう (仲の良い人、苦手な人、敵対する人など)。その人たちの隣人となって「自分自身のように愛する」とは、具体的にどうすることだと思いますか。(6 : 31、35 ~ 36 参照)

1/16 失われた息子

ルカ 15 : 11 ~ 32 (1 ~ 3 節)



イエスは、社会的に「罪人」として見下されている人たちと親しくしていましたが、そのことをパリサイ人や律法学者たちは批判しました。そこでイエスは、「罪人に対する神の愛」を教えるために、3つのたとえを語られました。今日の話は、その3つ目のたとえ話です。

1 たとえの中のそれぞれの人物は、誰を表しているでしょうか。

父 =

弟息子 =

兄息子 =

2 弟息子は、どのような気持ちで父の財産を求め、家を出たのだと思いますか。それは、人間のどのような姿を表しているでしょうか。(12 ~ 13 節)

3 あなたは、神との関係において、弟息子と同じような気持ちになったことがありますか。

4 何もかも失い、罪を自覚して帰ってきた息子を、父親はどのようにして迎えましたか。なぜ、そうしたのでしょうか。(20、22 ~ 24 節)

5 兄息子は、なぜ弟が帰ってきたことを喜べなかったのでしょうか。(25 ~ 30 節)

6 あなたは、神との関係において、兄息子と同じような気持ちになったことがありますか。

7 息子たちに対する父親の言動から、神がどのようなお方であることがわかりましたか。

1/23 パリサイ人と取税人の祈り

ルカ 18：9～14

1 イエスは、どのような人に向けてこのたとえを話されましたか。(9 節)

2 パリサイ人と取税人は、それぞれどのようなことを祈りましたか。その祈りには、彼らのどのような心が表れているでしょうか。

・パリサイ人 (11～12 節)

祈り

どんな心？

・取税人 (13 節)

祈り

どんな心？

3 あなたは、どのようなことを祈っていますか。以下の項目に分けて考えてみましょう。その祈りは、どのような心から出てきていますか。

・どんなことを感謝している？

・どんなことを賛美している？

・どんなことを悔い改めている？

・どんなことを願っている？

4 イエスは、義（正しい）と認められたのはパリサイ人ではなく、取税人だとおっしゃいました。神が喜び、義とされるのはどのような人だといえますか。(14 節。詩篇 51：17、Iヨハネ 1：8～9)

1/30

花婿を待つ娘たち

マタイ 25 : 1 ~ 13



このたとえ話は、「天の御国」について教えています（1節）。ここでの「天の御国」とは、世の終わりに約束されている、主イエスの再臨を意味しています。主イエスの再臨に向けて、私たちがしておくべき備えを教えるのが今日のたとえ話です。

1 あなたは、ふだん、イエスの再臨についてどのくらい意識していますか。イエスにお会いする時をどのように迎えたいと思いますか。

2 賢い娘たちと、愚かな娘たちの準備の違いは何でしたか。その結果はどのようなものでしたか。

・準備の違い（3～4節）

・その結果（10～12節）

3 イエスの再臨について、次の箇所を調べてみましょう。

・マタイ 16 : 27

・マタイ 24 : 36

・Ⅱペテロ 3 : 3～4、9～14

4 イエスが再臨なさる時を、「目を覚まして」待つとは、どのように生きることだと思いますか。

2/6 タラントのたとえ

マタイ 25 : 14 ~ 30



今日のたとえ話も、「天の御国」について教えています (14 節)。先週と同じく、やがてイエスが来られる時 (世の終わり) まで、私たちがどのように生きたらよいかを教えるたとえです。

1 しもべたちに預けられた金額が違うのは、なぜでしょうか。(15 節)

2 3 人のしもべについて、表にまとめましょう。

	5 タラント預かった人	2 タラント預かった人	1 タラント預かった人
お金をどうした？	(16 節)	(17 節)	(18 節)
なぜそうした？	(20 節参照)	(22 節参照)	(24 ~ 25 節)
主人の評価は？	(21 節)	(23 節)	(26 ~ 27 節)

3 主人がしもべたちに求めていたのは、どのようなことだと思いますか。

4 あなたには、神からどのようなものが託されていると思いますか。それをどのように用いていきたいと思いますか。

2/13 マルタとマリア

ルカ 10 : 38 ~ 42

1 イエスが村に来られた時、マルタとマリアはどのようにもてなしましたか。

・マルタ (38、40 節)

・マリア (39 節)

2 マルタは、なぜ心が落ち着かなくなってしまったのだと思いますか。なぜ、イエスを責めてしまったのでしょうか。(40 節)

3 マリアが選んだ「必要な1つのこと」「良いほう」とは、何のことですか。(42 節)

4 あなたは、日頃、どんなときに「みことばを聞く」ことをしていますか。優先順位はどのくらい高いでしょうか。

5 忙しい生活の中で、「みことばを聞く」ことを「選ぶ」ために、どんなことを心がけたらよいでしょうか。それを後回しにさせるものや、時間の使い方を吟味してみましょう。

2/20

金持ちの青年

マルコ 10 : 17 ~ 31

- 1 イエスに質問した人は、どのような人でしたか。福音書の並行箇所も開いて、調べてみましょう。
(20、22 節、マタイ 19 : 20、ルカ 18 : 18)
- 2 イエスが指摘した、この人の「欠け」とは何だったのでしょうか。(21 ~ 23 節)
- 3 21 節のイエスのことばを聞いて、この人はどうしましたか。あなただったら、どうしたと思いますか。それはなぜですか。(22 節)
- 4 あなたにとって、イエスに従うことを妨げるもの、神よりも依存しているものは何でしょうか。
- 5 「永遠のいのちを受け継ぐ」(17 節)、「神の国に入る」(24 節)、「救われる」(26 節) ために、私たちはどうしたらよいのでしょうか。(27 節。ヨハネ 3 : 16、17 : 3)

2/27 バルティマイ

マルコ 10 : 46 ~ 52

1 バルティマイはどういう人でしたか。(46 節)

2 バルティマイの次の行動から、彼のどのような気持ちや、イエスに対する信仰が読み取れますか。

・ 47 節 (「ダビデの子」 = 旧約聖書に約束された救い主を指す表現)

・ 48 節

・ 50 節

・ 51 節

・ 52 節

3 なぜイエスは、「わたしに何をしてほしいのですか」と尋ねたのだと思いますか。(51 節)

4 今日の話から、イエスについて、イエスを信頼することについて、どんなことを学びましたか。

あなたのイエスに対する信頼(信仰)は、どのようなものでしょうか。

3/6

ザアカイ

ルカ 19 : 1 ~ 10

1 ザアカイはどのような人物でしたか。(1~4、7節)

- ・住んでいた町
- ・職業
- ・財力
- ・外見
- ・町の人々の評価
- ・誰に会いたいと思ったか
- ・そのためにどうしたか

2 イエスは、木の上のザアカイに何とおっしゃいましたか。ザアカイはどんな気持ちだったと思いますか。(5~6節)

3 イエスとの出会いを通して、ザアカイはどんな決心をしましたか。なぜそのような決心をしたのだと思いますか。(8節)

4 神の子イエスが地上に来られた目的は何でしょうか。(10節)

5 イエスは、ザアカイの名を呼び、共に時間を過ごされたように、私たちとも交わりをもつことを願っておられます。「今日、あなたの家に泊まることにしています」とイエスに言われたら、どんなことを話したい・聞きたいですか。

3/13

エルサレム入城

マルコ 11 : 1 ~ 11



過越の祭りが近づき、イエスは弟子たちと共にエルサレムにやってきました。イエスにとって、これが最後のエルサレム訪問です。今日読む出来事は、十字架にかかる5日前の日曜日の出来事です。この日イエスは、ろばの子に乗ってエルサレムに入られました。

- 1 人々は、イエスをどのように迎えましたか。イエスに対して、どのような期待があったと思いますか。(8 ~ 10 節。使徒 1 : 6 参照)
- 2 当時、王が乗るのは馬で、ろばは荷物や人を運ぶ庶民の家畜でした。イエスが馬に乗って凱旋するのではなく、子ろばに乗って入城されたことから、イエスがどのようなお方であることがわかるでしょうか。(10 : 42、45 参照)
- 3 この時、約 500 年前にゼカリヤが救い主について預言していたことが、イエスによって成就しました。その預言から、救い主はどのようなお方であることがわかりますか。(ゼカリヤ 9 : 9 ~ 10)
- 4 イエスがもたらす平和とは、どのようなものでしょうか。それは、当時の人々の期待にかなうものだったでしょうか。(ローマ 5 : 1、エペソ 2 : 14 ~ 19)
- 5 あなたは、イエスをどのようなお方と理解していますか。また、どんなことを期待していますか。

3/20 宮きよめ

マルコ 11 : 15 ~ 19



当時のエルサレムの宮（神殿）には、ローマの貨幣を神殿に納めるための貨幣に両替する両替商や、いけにえ用の動物を売る商人がいました。礼拝に来る人々にとって便利である一方で、その手数料や値段はかなりの高値でした。また神殿を管理する祭司長たちも、その商売を許可することで利益を得ていました。エルサレムの宮は、①イスラエル（男子）の庭、②婦人の庭、③異邦人の庭、の3つに区切られており、商売が行われていたのは、異邦人が礼拝をささげる③でした。

1 イエスは宮で、どんな行動をとられましたか。なぜそうなったのでしょうか。(15～16節)

行動

理由

2 イエスは、宮について、どのような場所であると人々に教えられましたか。(17節)

3 イエスの教えを聞いた祭司長たちや律法学者たちは、どう反応しましたか。それはなぜでしょうか。(18節)

4 あなたが神に礼拝をささげるとき、また祈るときや奉仕するとき、心は神に向いているでしょうか。

グレード4-5 ワークシート

3/27 ナルドの香油

マルコ 14:3～9 (ヨハネ 12:1～11)

1 ベタニア村での食事会で、ある女性がイエスに香油を注ぎました。これは、主の足もとで話に聞き入っていたマリアです (2月13日の学び、ヨハネ 12:3 参照)。マリアは、どのような気持ちで香油を注いだと思いますか。

2 弟子たちは、マリアのしたことをどう評価しましたか。イエスはどうでしたか。

・弟子たち (4～5 節)

・イエス (6～9 節)

3 なぜイエスは、上記のように評価なさったのだと思いますか。

4 あなたは日頃、どのようなものを・どのような気持ちで神にささげていますか。

5 この年度を振り返りましょう。どんな出来事がありましたか。神はどのように関わってくださいましたか。感謝などを祈りとしてささげましょう。